



優勝おめでとう!

～日本ハムファイターズ応援大使を囲んで～

議会だより



定例会9月会議

【主な記事】

- 町政の今後の方針を問う 2～3
- 平成27年度決算審査 3～4
- 平成28年度補正予算審議、条例改正 ... 5～9
- 定例会10月会議 9
- 事務局通信 10

平成28年12月

NO 173

町政の今後の方針を問う (9月会議)

一般質問

戸嶋郁夫議員

医療技術者等修学資金

貸付制度の見直しについて

戸嶋議員 現在我が町には様々な奨学金、修学資金制度があり、これまで多くの子供達が利用しているところだと思われまます。そのような中、昭和45年に条例化された医療技術者等修学資金貸付制度は、将来を見直し創設当時としては子供達の自立の夢をかなえる希望のな条例であったかと思えます。しかし、施行後40数年が経ち、制度内容と実情との差が生じるなど、十分に活用されていない状況かと思われまます。地元利尻島に帰ってきたと思う学生と、将来の医療技術者不足を補うための制度であるならば、現在多くの医療現場で行われているプリセプター制度、いわゆる新人教育制度と現場での実習期間も考慮し、条例で謳われている卒業後1年以内という条文の解釈等については、今後柔軟な対応と返還の猶予期間を設けるなど、活用できる制度の見直しが必要と思われ

ますが、町長の所見を伺います。

町長 医療技術者等修学資金貸付条例の目的は医師、歯科医師、保健師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、医学療法士、作業療法士、介護福祉士または本町において必要な医療技術者等に対し、修学に必要な資金を貸付け、もって本町の医療技術者等の充足を図る事を目的としており、3年以上本町において、業務に従事しようとする者に対し、修学資金を貸付けるものであります。昭和45年に制度を制定後、職種を追加し、運用されてきましたが、現在貸付中の方も含め、37名が利用しております。内訳は、医師5名、歯科医師1名、歯科技工士1名、歯科衛生士2名、理学療法士1名、保健師8名、看護師19名であり、この内現在貸付中の6名を除く31名の者で、本町において業務に従事され貸付金を全額免除、あるいは一部免除された方は12名であり、19名は本町に従事されておりません。

さて、質問にありますプリセプター制度なども考慮しての返還、債務の当然免除規定、

また返還規定について柔軟な対応など制度の見直しが必要とありますが、先程本町において業務に従事したものが12名と申しましたが、保健師を除けば本町に従事した者は5名という実態も含め、現下の医療技術者の修学環境を把握し、実態に即した制度改正は必要だと考えている所であり

ます。本町で医療技術者が勤務している部署では、医療技術者確保に大変苦慮している状況であり、保健師など採用に向け本年7月から8月にかけて福祉課保健センターの職員が10の大学、専門学校を訪問するなどしておりますが、目的が立っておりません。修学のための貸付金も大事であります。本町に就職していただくための制度も充実しなければならぬと思っております。現在医療技術者に勤務いただいている担当部署には、どういった修学資金、あるいは本町に従事してもらおうための制度が必要なのか、検討させておりますが、町の税金を原資としていたる制度でありますので、慎重に検討して参りますのでご理解を賜りたいと思っております。

議員 実際資格を持たなければならぬ職員等々については、やはり我が町においては地元でという意向が強くあるうかと思えます。そういう部分で、採用についても柔軟な対応をして頂き、時期にとらわれずに町のホームページなどで随時募集をし続ける必要はあろうかと思えますが、もう一度答弁をお願いします。

町長 支援資金を借りながら修学をし、卒業をして、本町で就職したいという希望の方々が多数おられるのかという風には感じておる中で、先程答弁しましたように、31名中19名の方々が本町に従事されておられないという実態もありますので、今後貸付するときに3年以上本町に従事しようとする者に対し、修学資金を貸付けるという規定もありません。その辺の事も申請者とよく話をしながら本町の就職希望等を把握しながら厳格に貸付をしていきたいと思っておりますし、採用については、限られた部署での採用になります。今現在でも看護師あるいはその他医療技術者等が退職あるいは本人の都合によりという事で、足





「決算審査特別委員会」

主な質疑

9月会議において、平成27年度の決算審査を決算審査特別委員会を設置して行なわれ、全会計を認定しました。

りないという状況が続いており、町のホームページでも随時募集をかけながらやっております。採用の時期についても、即採用という声があれば、即採用するようにという事は、担当課にも申してありますので、できればこの制度を使いながら本町の医療技術者として働いて頂けることを期待しながら、先程も申したとおりどのようにすれば就職がしやすいのかという制度も含めて見直したいと思っておりますので、ご理解賜りと思います。

(以上)

平成27年度の各会計の決算を認定

一般会計及び全特別会計

歳入総額 63億1,973万円
歳出総額 62億3,640万円

■決算審査特別委員会

委員長 佐々木 勝
副委員長 長岡 俊裕

Q 飯田委員

●庁舎内の省電力化について

庁舎内の省電力化工事という事で予算計上されていた、その後の電気料についてどのような内容になっているのか。前年度と比較して57万1千円の増額の決算額になっているが、料金の関係もあると思うがどのように要因を分析しているのか、またこれらを庁舎の省電力化の工事の成果をどのように捉えているのか。

●地方創生事業について

「子ども子育て地域人材育成事業」の家庭内保育と研修業務委託料について、この研修業務の内容と研修実績を伺いたい。

この研修結果を踏まえて今後どのようにしようとしているのか。

「外国人観光客誘致対策事業」

について、誘致対策モニターアーの内容、そこから得たものをどのように分析しているのか。また外国人観光客にどのようなアプローチが今後必要になってくるのか、具体的なものがあれば、教えて頂きたい。

「産業遺産活用モニターアー開催事業」について、このモニターアーの具体的な内容今年度予算にも似たような項目

で産業遺産活用調査研究委託料という事で計上されているが、本年度も似たような内容の事業であるが、調査研究の目指しているものは何なのか。

A 総務課長補佐

昨年各事務所の計51台をLED化し、工事内容の精査などで工事が年明けになってしまい、決算額には電気料金の軽減というの反映されていないような状況となっております。工事の成果としては、電気料金の低減、蛍光灯の管の購入費、経年劣化による安定機などの故障対応、相応の効果が見込めると考えております。7年程度で蛍光灯のコスト経費は逆転していく計算をしております。

A 福祉課長

家庭的保育と研修業務委託料の業務内容としては、島での子育て環境を充実する基盤としまして、地域での子育て、女性の仕事支援、一時預かりについて実施しました。子育てに興味のある方を対象に必要な知識の習得、学習機会を提供するもので、地域子育て支援員を養成する研修会を開催し、受講済みの方のうち数名にリーダー養成を目的としたスキルアップ研修を実施し、現地子育て支援センター

での実習を札幌市で研修する内容となっております。これらの企画運営調整等をNPO法人医療福祉支援協会に委託し、実施実績は子育て講演会24名、子育てセミナー16名参加、ニーズ調査は5歳以下の子どもがいる保護者84名のアンケート調査と集計、統計を実施しております。地域子育て支援員養成として、家庭的保育研修、地域子育て支援員研修を3日間の日程で9名が終了しております。今年度においては昨年度研修等を受講できなかった方や、参加者で未実習の項目を拾うための子育て支援員研修を予定しております。それを終了し、子育て支援員となった方は今後各地の町内の研修会、イベント等に参加される際のお子さんの一時預かりを希望される時に、預かりの実践を行う予定としております。将来支援員の雇用にも繋がるファミリーサポートセンターを設立し、一時預かりのニーズの需要と供給の調整がありますので、運営が安定するまでは福祉課にて対応し、将来はサポートセンターとのコーディネートを構想としております。

A 産業振興課長

「外国人観光客誘致対策事業」については、台湾・香港観光客の誘致と、島内の宿泊を促進するため旅行会社と約42社へのセールスコールやプロモーションと情報発信による誘致対策、台湾のお客様を対象にした受け入れセミナーを開催しました。台湾では、利尻・礼文に行く方は3回以上北海道を旅しているリピーターの方が多いと、香港の方でも日本を訪れる観光客の8割以上はリピーターという捉え方をしているという情報があります。外国人旅行者の誘客を図るために地域が推進する取組みをパッケージで支援する、そして海外に強力で発信する取組みを進めていく事になっており、町内の宿泊施設の利用のアップロードも必要ではないかと考えております。

「産業遺産利活用モニターツアー」開催業務委託については、利尻富士町の遺産が価値を物語るストーリーと共に有効に活用されるであろうという様な見解でありましたので、それをどのように構築していくかという事で、漁業と産業遺産利活用調査研究委託としてこれを実施しております。自然や歴史、文化

などの様々な地域遺産を明確にして、そこに観光プログラムの展開を図っていき、27年からの継続として28年度は地域資源活用型観光開発事業ということで予算を計上し、活用のための資源発掘の整理、それから観光基軸にした活用方法の検討、観光プログラムの開発、提供、地域遺産の観光活用組織の立ち上げ等計画し、実施しています。

Q 飯田委員（再質疑）

●「省電力化について」…当然効果ができるものについては、役場以外の関係する役場の施設等々も含め、検討されると思うが、

実際7年くらいでないかと効果が顕著に現れないという点から取り入れていけるものであれば、当然取り入れていって頂きたい。●「地域人材育成について」…例えば何かのイベントの時に預かりますという様な事があった場合、怪我などの問題考えられる。責任の関係と具体的に支援員の計画についてももう少し詳しくわかれば教えて頂きたい。

ついては、受入れる側の体制について宿泊の面、待遇の面といった関係では整備、体制強化を当然あわせての事業でなければだめだろうと思われる。こういった提案、提言なりがなされて一応問題点が出されているわけですから、それらを含めて観光協会側、受入れ側との協力体制を協議しながら整備も含めて調整等についてどのように考えているのか。

A 総務課長補佐

効果を検討しながら順次進めていきたいと考えております。また他の施設につきましても検討しながら順次LED化を進めて行ければと考えております。

A 福祉課長

運営方法等につきましては、今現在は検討中です。

契約については、過去にも保健師の募集等々で育成事業の件を相談した際に、講師派遣が可能なという内容でしたので、今回の法人と委託契約しました。

A 産業振興課長

受入れ側の整備を進めていく事は、確かに遅れていることは実情としてあると思います。観光協会との連携についてはこの度新しい事務局次長が就任し、経験がありますので、一緒に協

力しながら町内における英語など協会の方々の需要を踏まえながらやっていきたいと思えます。今、地域おこし協力隊の2名が英語堪能であるという事でアンケートなども彼らに作ってもらっておりまして、外国人の方が何を見てきたかと、利尻で何を見てきたかという事も今だんたんとわかってきている部分もありますので、協力しながら一歩ずつでも進めていければと思っております。

Q 長岡委員

●プレミアム商品券とプレミアム観光商品券がどのような業種の方々に何パーセントその券が使われたのか。

●総合交流促進施設りぷらはLEDなど省エネ設計となつていますが水道料及び電気料がいくらか、その内訳を教えてください。

A 産業振興課長

商工会で行っておりますプレミアム商品券で卸小売業で約88パーセントの2,639万6千円、サービス業その他で7パーセントで222万8千円、飲食業が3パーセントで80万7千円、公共施設、温泉等は2パー

セントで54万7千円500円という内訳であります。観光商品券は、宿泊業が39パーセントで460万1,500円、卸小売業が35パーセントで421万3千円、サービス業その他が17パーセントで206万9千円、飲食業が6パーセントで76万8千円、公共施設、温泉等で3パーセントで29万7,500円というような分析結果となっております。

A 総務課長

りぷらの光熱費の内訳ですが、電気料が374万9,205円、それと水道料が5万6,840円、下水道料が2万5,578円となっております。

Q 長岡委員（再質疑）

「プレミアム商品券について」…商工会に加入している所に何パーセント使われているか、加入していない所はにどのくらいになっているのか。

A 町長

補助申請が終わった段階の数字ですが、6割が商工会加盟店で4割がその他の商店です。これはプレミアム商品券を始めた頃から6対4という割合は変わっていません。



■9月会議で審議された議件

【認定】平成27年度各会計歳入歳出決算
 【条例改正】職員の給与に関する条例の一部改正
 一般会計補正予算(第2号) など

条 例

□職員給与に関する条例の一部改正
 課長補佐等の職務に教育委員
 会次長補佐を追加する一部改
 正

【原案可決】

【その他】

□定住自立圏の形成に関する
 協定書の一部変更について
 宗谷定住自立圏共生ビジョン
 の新たな5カ年計画とする第
 2期の協定に関するもの

質 疑

伊藤議員 自治体の首長と稚
 内市の首長の締結はいつ
 町長 それぞれの議会が9月
 中に議決頂き、10月中旬以降
 締結する予定

【原案可決】

意 見 書

□意見書案第2号 林業・木
 材産業の成長産業化に向けた
 施策の充実・強化を求める意
 見書

【原案の通り可決し、関係省
 庁へ送付】

一般会計ほか補正予算審議

■平成28年一般会計補正予算
 (第2号)

歳入歳出700万円を追加し、
 総額を42億1,960万5千
 円と定める

質 疑

【次ページ以降に要約して掲
 載しています】

■平成28年度国民健康保険事
 業特別会計補正予算(第1号)
 歳入歳出172万8千円を追
 加し、総額を4億9,883
 万7千円と定める

【原案可決】

■平成28年度介護サービス特
 別会計補正予算(第1号)
 歳入歳出585万6千円を追
 加し、総額を4億4,803
 万3千円と定める

質 疑

飯田議員 介護施設職員の研
 修業務委託でこの業務の研修
 の内容、対象は老健ばかりで
 なく秀峰園職員もというよう

な説明だったが、具体的にど
 こに研修の講師を頼んだのか
 詳しく教えて頂きたい。

老健施設長 介護及び介護に
 携わる職員が業務を遂行する
 上で、知識技術とそれを実践
 する際の考え方のプロセスを
 身につけ、運営に関する基準
 の遵守、虐待に対する理解な
 ど知識の向上をはかる目的を
 考えております。研修方法は、
 講義及び現地指導、指導者研
 修、レポート提出を3回9日
 間行います。現地研修並びに
 指導者研修につきましては、
 2回延べ4日間行います。
 飯田議員 講師は誰に頼んで
 どこから来るのか。
 老健施設長 (株)ジャパンケア
 サービス北海道に委託します。
 【原案可決】

報 告

平成27年度一般会計及び特別
 会計決算に基づく健全化判断
 比率及び資金不足比率の報告
 について
 地方公共団体の財政の健全化
 に関する法律の規定により議
 会に報告されるもの

一般会計補正予算(第2号)の主な内容 700万円を追加補正

〈歳出〉	▽総務費	自治会館等整備事業補助金	59万5千円
		総合交流促進施設修繕料	110万2千円
	▽土木費	姫沼1号橋補修工事	310万円
	▽教育費	マクドナルド奨学基金支援の会補助金	20万6千円
		体育大会出場費補助金	29万4千円
		スポーツ少年団育成補助金	49万1千円
〈歳入〉	国庫補助金	(42万7千円)、繰越金	(572万3千円)、町債
			(80万円) ほか

一般会計補正予算 (第2号)審議(要約)

災害対策

災害時における自転車道の
利用の要望を

各機関等に強く要請

Q長岡議員 今回(9月)の大雨で想定外による湾内覆道が土砂の流出で決壊し、通行止めが1週間続くという非常な事態となりました。湾内、野塚、雄志、鷺泊の東地区の人達は避難勧告した避難所に行っている以外、その間漁師の人は鷺泊に係留している船にも行けない、鷺泊の事業所に通っている人も鬼脇、仙法志、そして沓形周りで7時前に家を出て仕事場に就く、そして高齢者は病院にも行けない、買い物にも行けない、観光の人にすれば島を周ってまた同じ道に戻るといふ大変な苦労があった。その中で地元の要望としてこういう時こそ、裏のサイクリングロードを1日いっぱいじゃなくても天候の良い状況の時だけでも通してもらえないものな、町が建設管理部に対してどのような1週間、要望を行っていたのかその町の対応をお聞きします。

A町長 私も2回ほど沓形の出張所に向いて湾内覆道の件について、通行止めの解除というのを第一義的な申し入れをし、早期に片側通行で時間差があってもまずその通行、交通を確保するということが第一義的なことなので復旧等について万全な体制でお願いしますという事は申し上げておまして、その中で住民の方から時化も近くなっているの船をそのままにし

てきたとか、葉がなくなるとか普段の日常生活の中で要望はたくさん聞かまして、出張所の方には伝えながら、柔軟的に対応しますという事で、対応はしてもらった部分がありました。

その中でも自転車道路、これは過去から十数年来通行止めであった中でその都度要望しておりましたけど、目的外使用、あるいは普通の道路と違う道路の構造の強度の問題等があつて中々通行させるといふ事は言えませんということから、そうであれば安心安全が基本ですが、特に緊急車両、救急車等についてはなんとかなりませんか、今回も申し上げましたけども、頑として受付けてくれなかつた状況で、時間はかかりませんが、救急がでた場合にこちらから迎えに来てこつちからも行くというのが、一番最短で行ける状態はとっておきました、昨年10月の強風で自転車道路等の倒木があつて維持補修するのに車両も入ってくるだろうし、ダンプ等も入っているので色々な事象を取り上げながらそこだけはなんとかというように申し上げているところであります。違う角度からの要望をし、それぞれの関係機関も視察に来ていますのでその都度、国会議員の先生と議会議員の先生また関係部署にはそういう話はしていますので今後早めに良い方向で進めばいいかなと思っております。

Q長岡議員 高齢者が多く、もし救急を呼んだ時、もし火災が起きて消防車を呼ぶような状況になった時に、一刻も争うような事態になります。緊急車両は通すと当時の土現の説明を記憶しているが、もう50年に1度じゃなくて2年に1度にこういう様な事態が頻繁に起こるといふ事を想定する時、1〜2日の避難でしたらある程度住民の方も我慢するのであるでしょうけども、こうやって土砂が流出して1週間となれば仕事を持つ

ている人もいれば年寄りの人も大変な気苦労もあると思えますので、色んな面で町長も宗谷振興局、そしてまた道議会の先生、国会議員の先生方と会う機会があると思えますので、災害をこれで終わらせないで頂きたい。緊急時に実際車両が通れるような強度の橋ができています、トラックも通っています、作った時から確認していますけれども、長期間にわたり申し入れをし、もし1回でも通る既成事実を作っていただけならば、これから住民の人が安心すると思うので、気の長い話かも知れませんが、長期にわたって常々機会あるごとに町の方からそういう要望して頂きたい。



大雨により土砂に埋もれた湾内覆道

A町長 防災等の会議ではもう想定外とか想定内という言葉よりもそういう大雨等が常態化しているとか捉えて防災の意識を変えていかないと防災施設もそういう事で対応していかないと対応しきれなくなるという事は常に申し上げております。サイクリングロードの使用は相手のあることです。中々できませんが、緊急的なものについては通行可能という一言があれば精神的にも、我々も住民の方々も大変安心感があると思いますので、これから色々なところに要請、要望活動に行つて強く訴えていきたいと思ひます。

災害対策

路線バスの運行と

高齢者への対応等について

早期の検証で次に備える

Q長岡議員 宗谷バスも雨の中、全島通行止めのために運休していましたが、ある程度通れるようになってから、1便が旭浜まで運行、2便以降は野塚から戻つて沓形方面に引き返しの運行とされ、なぜ沓形まで来ないのかという疑問がありました。沓形内地区には高校生もいます。お年寄りが病院に行きたい人もいます。買い物に行きたい人もいます。野塚から高齢者がどういふ風に乗れば良いのか町が宗谷バスに対して高額な補助をしている現状で、沓形まで来てそこでユーザーンする状況ではなかったのかどうか、それを町側としてなぜ宗谷バスに要望しなかったのか伺います。

また3回目の避難の時ですが、副町長が、お年寄りに、「もし病院に行くんでしたらいつでも声かけてください、車出しますから」ということで、あるお年寄りが「自分1人だったら悪いから何人か誘つて病院に行きたい、薬も無くなるし」と役場に電話したら、聞

いてません。誰が言ったんですかという様な対応だったらしいです。高齢者は、交通手段がなくて病院に行くのも、薬も2〜3日分なければ心配だらうし、そういう善良な意味で副町長も言ったと思ひますけれども、そういう上と下の意思系統というのは、職員も雨の中現場や避難所で一夜過ごし、夜も見廻つたり、対策本部も時間外にやっていますので、大変だったと考えますが、こうした長い間避難で町民もストレスとかフラストレーションが溜まっていると思われまふ。災害対策における町の意思系統はどうであつたのか。

A総務課長 宗谷バスが折り返し運行期間中、利尻高校生の野塚と沓形の生徒が3名おりました、この3名の生徒が通学に支障をきたした事から宗谷バスの利尻営業所長に申し入れまして、問い合わせをしました。バス会社では逆周りで回す場所が無い、運行の定時の時間に支障があるという回答で、野塚にも沓形にもバスが折り返しできる場所はあるとのことでしたが、2日間は朝の通学バスに旭浜までバス会社の方で沓形から野塚、旭浜までバスに乗せて対応、帰りについては親御さんの方で対応してもらえたという状況になっています。

A町長 病院までの車両関係は、私も今初めて聞いたような状態ですが、確かに通行止めが火曜日の午前中まで発表されていきましたので月曜日、火曜日の午前中に病院等に行く方がいれば車で対応してやりたいという話は聞いていましたので、それはそのような対応でということ副町長には申し上げていましたが、結果的にそういうような電話があつて聞いてなかつたという対応だったのであればこの場を借りて深く陳謝したいと思ひます。今回の災害等につきましても指揮命令系統は私が責任者でございますので、随時情報を入

れながらできる限りの事は今回の災害でも色々な対応をしたつもりではあります。住民の方々にしてみればまだまだという部分があつたかもしれませぬので、防災担当の係長等に今回の大雨等についての避難指示等の関係、あるいは各関係機関に対する要請等を検証して、早めに検証して次に備えておくという事を指示しておりますので、ご理解賜りたいと思ひます。

教育

マクドナルド奨学基金

支援の会の内容は

高校生2名の留学

Q安楽議員 マクドナルド奨学基金支援の会補助金として206千円計上しているが、その趣旨、内容的なものを具体的に説明いただきたい。

A教育長 今年度も高校生2名、引率の先生と3名が10月21日に出発して11月2日に帰ってくる13日の日程で留学する事になっております。予算については経費合計が127万1千円の支出を予定しており、収入については自己負担分としてマクドナルド奨学基金支援の会補助金41万3千円、補助金として利尻富士町と利尻町合わせまして41万2千円1町20万6千円の補助でございます。それから今年度に限り、公営信託北海道開発国際交流基金からの助成金が44万6千円入つてくるという事で、合計127万1千円の予算でございます。これが収入の内訳ですけれども、支援の会で50%、残りの50%を利尻富士町と利尻町両町で4分の1ずつ負担するという事で、取り決めを行つております。

Q 安楽議員 アメリカ留学の内容を説明願いたい。

A 教育長 10月21日に利尻空港から出発し、成田空港から10月22日でシアトルのタコマ空港に到着します。その後また飛行機でスポケイン空港に飛び立ち、その日は市内見学でその後マクドナルド関係者の訪問、10月24日にコビル高校の訪問交流という事が予定されておりです。この間生徒はホームステイをして引率の先生はホテルで泊まります。その後アストリア高校というところも訪問交流することも予定されておりです。その後ポートランド市内の見学など13日の日程で留学を行うという内容でございます。

育 教

鬼脇地区併置校の校名について

検討委員会の中で

はつきりとしていきたい

Q 飯田議員 新聞報道で建設中の小中併置校の工事の内容、進捗状況などが載っていました。8月30日の新聞だと思いますがその最後の方で、この併置校の校名についても触れていました。今までの利尻小、鬼脇中そのまま残す考えであるという様な記事内容であったかと思えます。この併置校の名称につきましては地域の関係機関等と協議をしながら校名は決めていくというように伺っております。それがその前にこういう形で、ただ記事とは言いながらニュース性があるわけです。これはどういった経緯なのかという様な事も含めて関係機関等との協議、名称について、これについて実際どのようになされているのか、現状はどうか、どのように進めようとしているのか。

A 教育長 小中併置校建設にあたって、鬼脇地区小中併置校建設検討委員会というのを立ち上げております。

その中で平成24年ですけれども、ワークショップを開催いたしました。その中で校舎の建設位置やどういう校舎にしたいですとか、またその中で校名について色々意見を出し合ってもらいました。その中で2、3候補が出ておりましたけれども、それでしぼるといふ訳ではなくてこれからも意見を聞き地域の人の意見を聞くという事で終わっております。また、一方では伝統ある利尻小学校という事で、利尻小学校の名前も無くさないで欲しいという様な意見もございました。その後校名についてその検討委員会の中でも具体的な意見交換や検討はなされていなかったですけれども、昨年平成27年の11月に検討委員会に小中併置校の校舎の設計図の平面図もできましたので、その図面を見ながら色々検討をしてみました。質問の中で職員室が1つなので学校名はどうするということもありましたので、私の方からは変えるという考えはないということでは、その時点までは申し上げておりました。それで地域の意見、要望を聞きながらさらにこれからの小中併置校ができた後の学校運営ということも考えると、そういう時にはまた変える事も可能であるという風に申し上げております。小中併置校にしたからといって必ずしも校名は一つでなければいけないという事ではありませんので、道教委にも確認はしておりますけれども、別に何々小学校、何々中学校と校名が二つあっても小中併置校では構わないという事で、実際にはそういう様な小中併置校も道内にはあると聞いておりますので、建物は一つでその中に小学校と中学校が入るんだという認識で校長は1人、これはどちらか兼務という事になりますけれども、教頭先生は小学校中学校と2人置けると、そして職員室も一つという事になりますので、その中で小中併置校も機能をもつ

学校だというように考えております。こういうことから今のところ校名を考えるとということでは無いですが、今後またグランド等の設計もしておりますのでそれがあがってきた時点で建設検討委員会を開いて意見を聞く機会もありますので、その時またさらに今後について意見を聞いて見たいと思います。

Q 飯田議員 両校名を残しても構わない、そういう併置校として前例もあるという教育長の話ですけれども、ただ例えば校名をどうしようかという形できちんとした検討委員会なり学校のあり方とか議題として協議をして2校は二つの名前で行く、これでいいですねという風に固まった形で、これが記事になりマスコミ報道されればいいのですけれども、報道に先行されるという様な形で考えている人達が誘導されるということが懸念されませんか。この検討委員会に入っているかわかりませんが、鬼脇地区で支所長が窓口になっていますが、鬼脇地区の活性化の町づくり協議会もあります。色々な所からの意見を聞いて私はやるものだと思います。色々な所から、両校の名前を残すならそれで構わないですが、それはみんなが納得して、校歌にしてもそうです。利尻小学校の校歌・鬼脇中学校の校歌があるわけですから。細かく言ったら色々協議していく機会があつていいのでは、協議しているものだと私は思っていたわけなんです。たまたま工事の内容が出ていて最後に少しだけ両校の名前はそのまま残すような考えでいるんだという様な事でしたから、小さな部分ですけれども、きちんと皆が納得して、こういう形で記事が出たというのであればわかりますが、その辺の所は懸念されませんか。

A 教育長 確かに結論になつて記事になれば良いのですが、私の考えとしては2校の名前でもいいという事



工事が進む鬼脇地区小中併置校

で考えてはいますけども、検討委員会の中で確かにいつきりとそれでいくという決定はされておりませんので、これから開催される検討委員会の中ではつきりとしていきたいなという風に思います。その中では鬼脇地区の町づくり協議会でメンバーに入っておりますのでこちらの方の意見も聞けるようになるというように考えておりますので、これから早いうちにまた検討委員会を開いて結論付けたいなと考えております。

Q 飯田議員 皆が納得して地域の人、例えば今対象になるのは保育園児、小学校、中学校でいえば低学年がこちらの学校を卒業するという事で、やはり皆が納得して地域の人達も納得するというような、そういった学校であるべきだと思えますので、是非その辺についてはせっかくの会議があるわけですから協議をしていい形で校名を決めていっていただければと思います。そのまま残すことはそれで全然問題ないと思いますが、納得した形というのを望みます。

定例会10月会議

(10月30日)

□ 一般会計補正予算(第3号)

・ りぷら非常用予備電源整備工事

493万6千円 追加

・ 消防庁舎建設基本設計業務委託

1,400万円 追加

【質疑】長岡議員・庁舎を建てる

候補地として別な候補地の話もあるが、スクールバスの車庫の裏側

を建設地にするという事で理解してよろしいか。

町長・基本設計を予算計上するにあたり、消防支署長には団長と幹部の職員に最終確認をし、結果的には土地のくい打ちで適地の可否

が判明しますが、関係者の確認で了解を得てこの場所での基本設計

の予算計上をしたところです。

・ 公共土木災害復旧費

2,668万7千円 追加

・ 農林水産業施設災害復旧費

226万6千円 追加

□ 監査委員の選任について

・ 鬼脇 種谷 正邦 氏

□ 固定資産評価審査委員会委員の選任について

・ 鴛泊 廣澤 宏道 氏

□ 教育長の任命について

・ 鴛泊 石川 武弘 氏

□ 教育委員会委員の任命について

・ 鬼脇 寺島 信宏 氏

・ 鴛泊 廣澤 宏道 氏

・ 鴛泊 石川 武弘 氏

・ 鬼脇 寺島 信宏 氏

常任委員会レポート

総務民教産建常任委員会 (9月2日)

・ 船揚場整備事業現況調査

地区の船揚場も利用者に配慮した改良や補修が施されており、整備状況は良好であると思われる。本泊に関しては、現地において斜路脇のブロックの高上げの要望がされていたので、荒天時の時化の際に現状確認をされるなど状況の把握に努めて頂きたい。

・ 保育所改修工事現況調査

既設棟の床暖工事は、園児のいる保育時間の工事の進捗が懸念されるが、利用に配慮した安全な施工監理にも注意願いたい。

・ 富士岬避難路整備工事現況調査

冬期間の除雪は施工した路盤の問題などで実施しないとのことであるが、新規の施設として整備した災害対策施設であるので、今後の管理方法も考慮し検討して頂きたい。また、施設の入口看板や標高表示、車輛駐車可能台数などの表示看板の設置も検討いただきたい。

広報・広聴常任委員会 (8月16日)

・ 議会だより利尻富士No.172の編集について

議会日誌

- 8月16日 広報・広聴常任委員会 (議会だより)
- 27日 利尻島鬼脇会 (札幌市)
利尻島一周ふれあいサイクリング
- 9月2日 総務民教産建常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 9月15日 定例会9月会議 (~16日)
- 21日 総務民教産建常任委員会 (災害調査)
- 29日 全国離島振興協議会理事会来町
- 10月2日 鬼脇保育所・利尻小学校合同学芸会
- 6日 鴛泊地区敬老会
- 7日 鬼脇地区敬老会
故惣万利尻町議会議員葬儀
- 8日 金毘羅神社例大祭
- 9日 鴛泊小学校学芸会
- 16日 鴛泊・鬼脇中学校学校祭
- 10月11日 大雨災害関係機関要望
(稚内・札幌市)
- 18日 全国離島議長会理事会 (東京都)

編集後記

50年に一度といわれる大雨は、町内各所での被害と住民生活の不安・支障を与える災害でありました。9月会議でもしっかりと今後の対策について議論もさせていただいたところです。一方、明るい話題としては、北海道日本ハムファイターズが日本シリーズを制覇し、当町の応援大使である増井・石川選手の活躍も見られ、多くの皆さんがテレビの前で歓声をあげ、その歓喜がまちの元気の一助にもなったと思っております。さらに優勝パレード直後に訪れてくれた両選手を目の前に子供達も喜びと感動を味わった楽しいひと時でした。

早いもので、平成28年も終わろうとしています。ご自愛され、皆様にとって新しい年も明るい一年でありますことをご祈念いたします。

広報・広聴常任委員会一同

議会に行こう!

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／安楽 昌弘
副委員長／飯田 睦穂
委員／長岡 俊裕 米谷 篤
伊藤 信勝 佐々木 勝
戸嶋 郁夫

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

事務局通信「ふるさとを考える」



9月会議を中学生15名(3年生)が傍聴に訪れてくれました!

鬼脇中学校から6名、鴛泊中学校からは9名の生徒が9月会議を傍聴。終始緊張の面持ちでしたが、自分たちの住む利尻富士町の政治を身近に感じ、興味関心と18歳の選挙権が与えられる筋目に向けての体験でした。冒頭では議長や町長からも激励の言葉をもらい、初めて見る議会に真剣なまなざしでした。生徒たちの感想を要約して紹介します。

〈感想と印象について〉

- なかなか見る機会がない議会を見て良かった。
- 難しいことも話していたけど、身近なこともあって楽しかったし、思っていたよりしっかりと論議されていたのでびっくりしました。
- 最初は分からない言葉ばかりで話が理解できませんでした。ですが、途中から大雨についての対策などの話が出てきたので、集中して聞くことが出来ました。こうやって、私たちが暮らしやすいように会議されていることを知って、議会って大事なんだなと思いました。
- 初めて議会見学をして、すごく難しい話をされていて凄いなと思いました。採決をとるとき、鬼脇中では拍手をしています。議会では起立していたのに驚きました。今回の議会見学はとても勉強になりました。
- 議会室(?)みたいな場所に入った瞬間から、空気感がちょっと恐かったです。何か裁判所みたいだなと思いました。
- サッカー一部の遠征に町から費用が出ていること、そして町で負担するときにこのような感じで決められていること。
- マクドナルド研修や全道大会に出場する費用など町から出ていること。
- 通行止めの時のサイクリングロードの使い方やバスの場所などみんな真剣に話し合って決めていること。
- いろいろなケースを踏まえて、緊急事態を考えていること。部活や少年団等の補助金の金額にびっくりしました。町全体でとても大きな資金が動いていることにびっくりしました。
- 大雨の影響など自分たちにとって身近なことが話されていることや、住んでいる人のため様々な話し合いがされていることを知ってよかった。
- 質疑応答がとても深くてすごいなあとと思いました。とても緊張しました。

〈先生からのひと言〉

「ふるさとの利尻富士町のことを考える力をつける大事さ」や「選挙をすることの意味」など議会経験がこども達の胸にとっても響く経験になりました。